

## ハチ対策のポイント

日差しの強まりとともに夏本番を感じる季節になりました。この季節における屋外作業での安全衛生対策として重要なのが、夏にかけて活発化するハチの予防です。ハチに刺されて死亡する事例も生じています。平成29年度では、13人死亡者が出ています。うち、林業従事死亡者はいませんでした。

☆ハチから攻撃を受けないために

- 黒色の服装や所持品は持たない
- 匂いのあるものは使わない
- 防蜂網などで自己防衛する
- ジュース類を飲むときは気を付ける

☆刺されたときの対処

- 刺された場所から離れ、ハチの毒針が残っていたら引き抜く
- 吸引機で毒を絞り出す
- 水で洗い流し、冷水で冷やす
- 手足を刺された場合、心臓に近い方を止血ゴム管等で縛り、緩めたりする
- 刺されたところは揉まない（毒が速く広がる）
- 赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る
- アナフィラキシーショックの疑いの方は、アドレナリン注射をする

刺されないように予防することと、もし刺されたときは、悪化しないために直ぐに対処、応急処置をしましょう。

## チェーンソー特別教育改正

伐倒作業による事故が多いため、労働安全衛生規則の一部を改正する省令が公布されました。チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育の見直しを行い、学科教育と実技教育が新たに追加になりました。全作業員（使用する者）は、受講が義務づけられました。2020年7月までに補講を受けないと、同年8月より使用禁止になります。

受け口に作るべき立木は、胸高直径が「40 cm以上」のものから、「20 cm以上」のものへ拡大する。なお、受け口と追い口の間には適当な幅の切り残しを確保することとする。保護衣着用の義務付けも実施されています。かかり木に関してでは、処理の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入り禁止にすること。安全に作業を行い、労働災害を起こさないように十分注意しましょう。

何かをしたい者は手段を見付け、  
何もしたくない者は言い訳を見付ける

日本の年中行事である、ご節句の1つでもある七夕。なぜ「七夕」と呼ばれるのかご存じですか。昔、日本では女性に「棚機（たなばた）」という機械で着物を織り、棚にお供えをして神様に豊作祈願や人々のけがれを払うという行事がありました。その後、仏教が伝わり、この行事もお盆前の準備として7月7日に行われるように変わっていききました。

短冊に願い事を書き、笹に飾る習慣は、中国の「きこうでん」という習慣からきており、書道が上手くなるよう短冊に書いていたそうです。いつしか竹や笹は真っ直ぐ育つことから、その生命力に神秘的なパワーがあるとされている。それにあやかり、願い事を書き折るようになったとか。日本の行事の意味を知ること、日本人という性質に惚れ惚れします。

# 依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業  
塩山事務所  
総務部

## 今月の一言

## 豆知識